Creative Enzymes®

パルミトイルテトラペプチド-7

Cat. No. CECP-011

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	パルミトイルテトラペプチド-7は、免疫グロブリンIgGを模倣する部分的な断片であり、複数の利点があります。これは、信号刺激を通じて皮膚の角化細胞や線維芽細胞に作用し、特に白血球からのインターロイキン-6の過剰放出を抑制することによって、炎症反□を調節し、不適切な炎症反□や糖化損傷を□減します。この作用は、皮膚のサイトカインのバランスを維持し、環境からのダメージから皮膚を保護するのに役立ちます。 さらに、パルミトイルテトラペプチド-7は、パルミトイル基で修飾されており、安定性と□皮吸収率が向上しています。これは、皮膚により効果的に浸透し、その機能を果たす能力を示唆しています。 さらに、パルミトイルテトラペプチド-7は他のペプチドと組み合わせることができ、相乗効果を生み出し、その効果をさらに高めます。これにより、しわを減らし、肌を引き締めるなどの利点のために、スキンケア製品に一般的に使用される成分となっています。
用途	パルミトイルテトラペプチド-7は、デヒドロエピアンドロステロン（DHEA）と同□にIL-6の放出を抑制し、DHEAよりも効果的です。パルミトイルテトラペプチド-7の投与量が高いほど、インターロイキン-6の減少が大きくなり、最大で40%の減少が示されています。UV誘発細胞にパルミトイルテトラペプチド-7を処理した結果、インターロイキンの86%の減少が見られました。 皮膚修復、抗炎症、鎮静、抗しわ製品に使用されています。

製品情報

外□	澄んだ液体
形態	液体
CAS登□番号	221227-05-0
pH安定性	3.0-5.0

使用法とパッケージング

包装	1kg/ボトル

保管・発送情報

保存方法	密封し、日陰に置き、涼しい場所に保管してください。